

モニタリング結果報告書 (令和元年度)

1. 施設概要

施設名	相模三川公園		
所在地	海老名市上郷		
サイトURL	http://www.sagamisansen-kanagawa.jp/		
根拠条例	神奈川県都市公園条例(昭和32年神奈川県条例第7号)		
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(平成16年3月)		
指定管理者名	アメニス相模三川グループ		
指定期間	H27.4.1 ~ R4.3.31 (2015年) (2022年)	施設所管課	都市公園課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>利用状況の評価はA、利用者の満足度の評価はS、収支状況の評価はBで、3項目評価はAとなった。 収支状況の評価についてはマイナス329千円でBとなったが、これは台風第19号により野球場や多目的グラウンド等が被災して利用不可となり、利用料金収入が計画より大幅減となったためである。その他の評価項目については、グループ構成企業の特長を活かした質の高い維持管理・運営管理に積極的に取り組み、利用者満足度では優れた実績を収めたことや、利用状況についても台風被害があったにもかかわらず目標数値を超えたほか、苦情にも適切に対応するなど、良好な管理を行っていた。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <ul style="list-style-type: none">◆管理運営等の状況 計画書の内容のとおり、地域と一体となった活性化、親水空間を活用した環境共生の啓発、花の名所づくり、スポーツ施設の利便性の向上などを実施した。大学との協働による鳩川親水空間でのイベントの開催や公園内学童保育「サニースクール」でのかかしづくりなど、公園の利用促進につながる取組を推進した。◆利用状況 台風第19号による野球場等の被災で使用不可となったものの、様々なイベントの実施や花の名所づくりなどに取り組んで公園の魅力向上を図り、利用者数の目標達成率が100.5%となったため、A評価となった。前年度対比では台風第19号の影響を受けて11.5%のマイナスとなっている。◆利用者の満足度 上位2段階の回答割合が98.4%となったため、S評価となった。◆収支状況 台風第19号の影響により野球場等が利用できなくなり、利用料金収入が大幅減となったことから、収支比率が前年度より約0.4%マイナスとなり、B評価となった。◆苦情・要望等 軟式野球場の散水栓の漏水について苦情があったが、すぐに対応し解決した。◆事故・不祥事等 特になし。◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。◆その他 なお、令和元年度の3項目評価についてはA評価とした。	
3項目評価	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要
A	※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	無	
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	随時	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		無

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>○地域や施設の活性化と価値向上</p> <p>○運営への参画や地域の一体的な活性化</p> <p>○大学との連携による地域活性化</p>	<p>○地域と連携した行事の開催、WEB記事やタウン誌でのPR等を実施した。</p> <p>○スポーツ広場の運営、せせらぎ祭り等の行事への地域参加を促進した。</p> <p>○関東学院大学ゼミとの協働で鳩川の生き物を紹介した。</p>	<p>大学や地域と協働してイベントを実施し、地域や公園の魅力を積極的に発信した。</p> <p>今後の継続・充実を期待する。</p>
<p>○環境共生の理念啓発</p> <p>○鳩川親水空間の活用</p>	<p>○野鳥観察会、水辺の生き物観察会、生き物探検隊等を開催し、自然との接し方等を参加者に伝えた。</p> <p>○「水辺の生きものとふれあおう！」という行事を開催した。</p>	<p>提案に基づき、立地特性を活かした事業を展開していた。</p> <p>今後も安全に十分に留意しながら、充実させていくことを期待する。</p>
<p>○花の名所づくりによる利用促進</p> <p>○ソメイヨシノの管理手法提案</p> <p>○イングリッシュガーデンなどの協働啓発</p>	<p>○ヒマワリ、コスモス、ネモフィラ等の花畑を造成し、播種した。</p> <p>○さくら守り隊による活動を継続するとともに、管理手法に基づいた管理を実施した。</p> <p>○ボランティア団体と定期的な手入れ、清掃を行った。</p>	<p>グループ企業の利点を生かし、質の高い植物管理に取り組んでいた。</p>
<p>○高水準なグラウンド管理</p> <p>○有料施設の利用率向上</p> <p>○地域のスポーツ振興と活性化</p>	<p>○高水準で効率的なグラウンド管理を実施した。</p> <p>○パークゴルフ教室などで利用率向上を図った。</p> <p>○運営協議会での意見交換に基づく運営を行った。</p>	<p>グループ企業の利点を生かし、スポーツ施設の管理運営の改善に取り組んでいた。</p>
<p>○おもてなしサービスの徹底</p> <p>○安全で安心なこどもの居場所作り</p>	<p>○窓口職員ミーティング、接遇講習、メール・SNSへの即時返信などを実施した。</p> <p>○毎週火曜日に公園内学童保育「サニースクール」を実施し、自由参加のオープン教室も開催した。</p>	<p>提案に基づき、独創的な事業計画に取り組んでいる。</p> <p>安全性など十分検証しながら充実させることを期待する。</p>

[参考：自主事業]

事業計画の主な内容	実施状況等
レンタルセット、売店事業の実施	広場で遊ぶ道具等のレンタルやケータリングカーでの軽食販売を実施した。
駐車場	有料化検討のための試行として、土日休日の有料化管理を行っている。
県立都市公園のPRのためのカレンダーの有償配布を行った。	令和元年度から計画どおり事業を実施した。

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。
A	社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）があれば記載してください。

	前々年度	前年度	令和元年度
利用者数※	446,405	454,207	402,008
対前年度比		101.7%	88.5%
目標値	369,400	400,000	400,000
目標達成率	120.8%	113.6%	100.5%

目標値の設定根拠： 提案書記載目標数値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数と団体利用者数から推計

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由 _____

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
満足度調査の実施内容	指定管理者による簡易アンケートは通年、詳細アンケートは年2回実施	本報告書では、県による休日3回、平日3回、イベント時1回の計7回調査の結果を使用する。指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的にみるといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 125 / 125 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらか といえば 満足	どちらで もない	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答が あった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	91	32	0	2	0	125	
回答率	72.8%	25.6%	0.0%	1.6%	0.0%		
前年度の回答数	85	16	2	1	0	104	
前年度回答率	81.7%	15.4%	1.9%	1.0%			
回答率の 対前年度比	89.1%	166.4%	0.0%	166.4%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

7. 収支状況

評価	※評価の目安 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計／支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
B	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	75,993	1,457	2,520	自販機2,520	79,970	79,970	0	
	決算	75,993	1,467	2,908	自販機2,908	80,368	80,097	271	100.34%
前年度	当初予算	75,993	1,486	2,520	自販機2,520	79,999	79,970	29	
	決算	75,993	1,484	2,648	自販機2,648	80,125	80,134	-9	99.99%
令和元年度	当初予算	77,400	1,486	2,520	自販機2,520	81,406	81,406	0	
	決算	77,400	844	2,812	自販機2,812	81,056	81,385	-329	99.60%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位：千円)

令和元年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

8. 苦情・要望等 該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	電話 1 件	軟式野球場散水栓のジョイントからの水漏れ	相手の意見を受け、早急に対応した。
職員対応			
事業内容			
その他			

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等 該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。